

ビュウロウ  
夫人の フレーベル追懷錄

S K 生 譯

ワイデンブルック閣下 (ついで)

この會話のあつた時刻、フレーベルはリーベン  
スタインへ歸つて來ました、而して私は彼をワイ  
デンブルックへ引合せました、ワイデンブルック  
は今まで話してゐた話題を追求し始めました、私  
はフレーベルに話の筋を話して聞かせました。

ワイテンブルックはフレーベルに向つて言ひま  
した、「それではあなたはすべての人は生れながら  
にして自由である、個人的自由權を以てこの世に  
現れて來たものである」といふ革命家の原理と相  
容れないのですね」

フレーベルは言ひました、「さうです、私は彼等  
の言ふやうな意味でそれを解釋しては居りませ  
ん、人はそれとは反對にあらゆる方面に於て束縛

されて生れ出て來るのであります、それですから  
人は自分で努力することによつてのみ自由を得る  
ことが出来るのであります、否得なければならぬ  
のであります、自由は與へられるものではありません、神と雖も自由を私達に與へて下さる譯には  
行きません、何故ならば自由は自己活動によつて  
のみ得られる道德的、智力的の解脱の所産であら  
ねばならぬからであります。各個人は教育の助を  
借りて幼児期の未發達狀態の嚴しき縛めから解脱  
しなければなりません。國民といはず人間種族は  
すべてこの同じ宿題を持つて居るのであります、  
彼等は野蠻時代から出發して時代の經過するまゝ、  
に一步々々現今の自由の程度まで漕ぎ付けて來た

のであります。組織的發達の觀念を人の歴史に當  
嵌めて考へてみますと私達はすべて眞の自由とい  
ふものは個人の氣儘な氣分を己に反するものとし  
て排斥するところの教養の結果であることを明か  
に又意味深く認めるのであります、けれどもこの  
個人の教養と國民の教養とは促育され得るもので  
はありません又一舉にして得られるものでもあり  
ません、それは連續的の發達の結果であります。  
それですから粗暴な俗衆は自由ではあり得ないの  
であります、否々すべての自由を阻むものは彼等  
なのであります、纔かばかり自由に對して教養を  
持てる者までをも不自由ならしめて了ふのは彼等  
なのであります。自由獲得に努める人々は彼等が  
國民的及び政治的の變化と更新とからばかり一般  
的自由を期待する時このことを忘れて了ふのであ  
ります、國民の自由といふものはその國家を成す  
所の多數の人々の持てる自由の程度に依存するも  
のでありまして、すべて善きものが然る如く――

又人が然る如く――同時に「自然」の仕事であり、  
「人」の仕事であり、「神」の仕事であるのでありま  
す、個人の氣儘な氣分に依存するのではなく偉大  
なる力の所有者に依存するのでもありません。人  
間種族はすべての方面に於て人生の改新を要求す  
る如き現在の發達狀態に達するまでには幾世紀の  
間種々なる經驗を積んで來たのであります、けれ  
ども人々は生の渾一若しくは人間界に存在する兩  
極の均衡、教養に於ける二大相違の革除、不法に  
壓迫され輕視されて居るものと高めてやること等  
であるべき時代の要求といふものを誤解して居り  
ます。」

「人間社會に於ける不同が廢されなければなら  
ぬ、人の平等化といふことが行はれねばならぬと  
いふことをあなたが意味するならばあなたは革命  
家及び革命家の意見に一致するのですね」とワイ  
デンブルクはフレーベルを遮つて言ひました。

フレーベルは言葉を續けて言ひました、「いゝえ

さうではありません、それでは人間の種々雑多な關係がなくなつて了ふでせう、人間界に於ける平衡は神の世界——無限の變化が秩序と調和の手段である所の宇宙——に於けると同じやうにこの關係の上に成立つて居るのであります、世界に於けるこの變化は神によつて定められて居るのであります、それは個人の氣儘な氣分によつて左右され得ない宇宙の法則であります、それは「自然」と人と「神」との共同働作であります、あなたの仰せられた革命のモットーは「すべての人は自分に與へられた力と性向との教化發達を要示する、然れどもそれは各人の現世的關係が各人に指示する範圍内に於てある、而してこの現世的關係なるものは大體に於て個人の努力によつて定まるものである」といふのでありませう。

「けれども現在に於て適度の教養を受けることの出来ない壓迫されたる二階級があります、すべてのものに教養の於高き程度に達することを得さ

せるためにこの二階級に於多くの自由——發達の自由といふ意味ですが——許容されなければなりません」

「而してその二階級といふのは？」とワイデンブルックが尋ねました。

「婦人と子どもです」とフレibelは言ひました、「この二者は壓迫され輕視さるゝの甚きものです、彼等は人間社會の部分としてその尊嚴を十分に認められて居りません、若し進歩と自由の大部分とが主として一般的教養の量に依存するならば神及び自然によつて家庭に於ける最初の教育の役目を命ぜられて居るものは婦人であります。この進歩は主として婦人に俟たなければなりません。而して幼兒期がその全部の重要に於て、人類の萌芽としてこのその高き尊嚴に於て十分に尊敬され、名譽づけられ、その性質及び教育に對するその要求に於て認められたならばすべての社會階級及びすべての個人に神より與へられた力及び性

向を發達させ、彼等をして事情と才能とに應じて

社會の便益のためにそれを用ふることを得させるべき手段と機會とが提供されるでありませう、

「私はそれが數世紀を要する仕事であることを知つて居ります、現代はその要求に應ずべき又人の尊嚴に裏切らない教育によつてその基礎が置かれることを要求して居ります、而してこの基礎を置くことが私の幼稚園の目的なのであります、幼稚園は民衆の幼兒が小さき野蠻人の如く成長するのを防ぎそれから又自由と履遠へられて居る放縱から學校を救ひ出すのであります。」

「この最初の時代は教育に於て最も大切であります、何故ならば初は進み方を定め約を定めるからであります、後年國家的秩序を便宜であると思はせるためには、人は幼年期に於て法則と秩序とに慣らされ、是等の中に自由の手段を發見させられなければなりません。放縱や氣儘な氣分は生涯の如何なる時期に於ても、無論幼い頃に於ても有

勢ならしめてはなりません。

「幼稚園の生活は理想的に言へば過去、現在及び

未來に於けるマイクログロトリング測微器的の人間生活であります、幼

稚園は内部及び外部の經驗の既得の富及びすべての時代の人間種族の智識をその集大成的結果に於て繼承して居ります。幼稚園は人(幼兒)を意識的の知覺を以てその内外の生活を生活するに適せしむるために家族との原始的關係、自然との原始的關係、彼自身との原始的關係にまで連れ戻ります、私は知覺と云ひました、知識とは云ひませんでした、何故ならば彼の年齢は知識に對しては不相應であります。知覺は思索の開始的豫備的の狀態であります。或人の知覺はその人の概念を喚起します、而してこの概念は發達の後の階段に於てその人の思索を喚起します。早熟は私達の望む所ではありません、自然的即ち存續的の組織的發達が私達の望む所なのであります。

「人間種族が過去から現在までに辿つて來た發

達のすべての階段を通り抜けたこの過程のみが現在の知覺の階段によつて要求される如く人を彼自身及び彼の生活の明かな自覺にまで導くことが出來ます、これによつて人類の活動は最も幼き小兒の活動に至るまで如何に意志に俟つ所が多いかといふことが知られるでありませう、けれども意志

は心によつて定められるので有ます。心は思索する力であります、而して思索は法則に従つて開展して行きます、心は思索の法則によつてのみ働くのであります、而して思索の法則は人の智的活動を定めます、それですから十分に修養を積んだ人の節度ある活動は氣儘な意志に依るのではなく自然生活の現象の如く確固不動の法則に依るのであります。宇宙の活動が引力の法則に依つて居るやうに人間生活は「生の渾一」の法則に依つて居るのであります、「生の渾一」の法則は高められたる太陽系の法則であります、従つて宇宙の法則であります、而して人は宇宙の最高の花であり果實であ

るのであります。斯くて精神發達の法則は世界組成の法則と同じやうに明瞭に理解さるゝことを要するのであります。

「宇宙の法則は人間教育の法則と同じであります。幼稚園は人の教育に於ける發達の一階段を造ります。次いで來るべき階段が動かすべからざる法則に従つてこの階段から續いて起ることは組織的生活に於ける場合と異らないのであります、人類の友たるものはすべて——彼が如何なる黨派に屬するにもせよ——次の階段に對して正しき狀態を保證するやうな教養の第一階段を作ることの助けるべきであります。

「理想に近い幼稚園を建設することによつて人々はそれが神の仕事であるか否かを知るでありませう、而して人といふものは創造的存在として如何に實際的な完全した根據の深い發達を遂げ得るものであるかといふことを知るでありませう。

「私の現在の目的は斯る模範的の機關をマリエ

ンタルに設置することであり、同時に保母を養成することでもあります。けれども若い婦人ばかりが幼稚園事業に従事する、つまり子供の性質を理解して生活的にも心理的にも彼等を扶育教導することが出来るやうに學ぶのでなく、すべての階級、すべての生活状態に於ける女性全體が人間の新しい教育に携り神に命せられた乳母及び兒童保護者の如くそれを適用することを學ぶべきであります。文明社會の發達の現在の階級が一般に要求する如く若しも女性全體がこの聖職に従ひ得るやうに爲されるならば女性はおのづからその無知と壓迫とから釋放さるゝでありませう、何故ならばこの職務は社會生活に於て、人間界に於て、女性として相當な位置を男性に示すために女性が必要とする所のすべての教養とすべてのエレベーションとを含んで居りますから。

「この教育を開始すべく私達を助けて下さい、この教育なくしては現在の要求は言ふも更なり將

來の要求も決して達せられませんが、この教育なくしては神の御心によつて花咲くべき春も咲かずに終つて了ふでありませう、來らねばならぬものは永遠の法則によつて來らねばなりません、人力によつて之を防ぐことは出来ないであります——それは神と自然の仕事であります、けれどもそれは法則の代りに氣儘が頭を擡げる時人に與へられた自由によつて遲延され妨害されることはあります。

フレーベルの説明にあらはな注意と興味とを以て耳傾けてゐたワイデンブルク閣下は腕を扼されました、而して外部の事情が許すに至つたならば直ちに該事業の支持に對して出來るかぎりの盡力を與へることを約されました、而して尙附加へて「この可能性に過度の飛躍を與へない方がいい、でせう」と言はれました。

その當時は大臣を始め誰一人として次ぎの年が私達の聖き主張に何を齎すであらうかに就て臆氣

な預感をさへ持つては居りませんでした。私達の主張は尙理解されずに侵害されつゝあつたのであります。が神の意志の體現者を以て任ずる直接の代表者の確固たる信仰によつて私達の主張は捧げられて居りました。

大臣の訪問があつて少し後のこと或日フレーベルは「すべての一般教育の敵及びあらゆる種類の進歩の敵が如何に烈しく反對して現れ出やうとも私達の主張は今ではもう確固たるものとなりました」と言ひました。

私は答へました、「さうです、私もさう思ひます、少くとも幼稚園の紹介及び主張の外部的及び實際的部分に關して私達の主張は多分確立されたことと思ひます、けれども根柢に横る思想は少しも了解されては居りません、短い公開講演に於ける私達の主張の提示は最も善き人々にさへも彼が引續いて熱心に研究しないかぎりには正しい理解を與へないといふことを私は益々明瞭に知りました、

あなたは根本の思想及びそれより生ずる方法の原理を簡単に語るやうなものを何か書かなければなりません。」

フレーベルは答へて言ひました、「簡単にですつて！ さうしやうものなら人々は私の「人間の教育」を誤解した時よりもつと甚しく誤解するであります、「人間の教育」には少くも私の根本思想だけは明瞭に現してあるつもりなのですが。一般に承認せられて居る人といふ存在の觀念は甚だ漠然として居ります、それから又幼兒の性質は動機の第一の發生期に於て及びその表現に於てホンの少ししか理解されて居りません、それですから記述によつてはホンの僅かに爲され得るに過ぎないのであります。

「異つた哲學體系を奉ずる人々が互ひに理解させ得ずして相争ひつゝある様を御覽なさい、言葉の上ばかりでなく兎に角行爲が私の主張の眞理なることを保證しなければなりません。目下のとこ

ろ、幼稚園及び母的感情の實際的結果が都合よく行つたならば、その時こそ、文章が私の思想をそのすべての深みに於て示すでありませう、又人類の發達の目下の階段に對して私の思想の必要なことを示すでありませう、而して又今漸く行はれんとしつゝある事物の新觀察に於て私の思想を正しき位置に置くでありませう。

「さうです、私の思想が正しく理解されることのないために存在性を失つて了ふやうなことがあつても、それは確かに誰か他の人の心に於て新に目覺めるでありませう、何故ならばそれは時代の要求であるからであります、而して神は相當な季節に於て果實を生じないやうなものをこの世に送り賜はぬのであります。

「徐ろに進みませう、神の許容無しには何事も起るものではありません、而して人がそのムラ氣と破壊性によつて善なるもの、眞なるものを如何に干涉しやうとも、人の仕事は神及び自然の仕事で

凌ぐことは出来ません、後者のいづれもは前者よりも強いのであります、人は神によつて命ぜられたものを少しの間妨害的に、破壊的に干涉するところが出来るのみであります。けれども彼等は決して本當の妨害をすることは出来ないものであります。私が理解されず、支持されないにしても――否假令迫害されるにしても以上が私の信ずるところであります。

「或時私が私の主張を守つて行けるだけの力を持ち得るか否かを疑問として考へてゐた時、次のやうな考が浮んで來ました、それは汝が若しも筆を執ることが出來ず、又何等の方法によつても自己を表現することの出來ない暗い牢獄に投せられた場合には、汝は汝の思想を救ふべく如何なることを爲し得るであらうかといふことであります、けれども私は直きに、神が私をして體現せしめた眞理をして現代に背かしめないために、私が爲さねばならぬ事柄を悟りました、眞理を明かにす



るために人類の舌が黙せしめられた場合には石が物を言ふであらうと私は思ひます——」

フレーベルは茲で時計を見るために口をつぐみました、時計は一時を示して居りました、彼は何時この時間に保姆の學校へ行くことに決めて居りました、それで彼は私と一緒に來て手傳つてくれと言ひました。私はその後再びこの話題を捉へやうとしましたがそれは無駄でありました、それのために都合のいい時は到頭ありませんでした。彼の意見及び思想に對して私の挟んで居る多くの疑點を氷解することが出來たであらう所の多くの説明が爲されずに終つて了つたのであります。けれども彼を何時までも一つの思想に止めて置くこと、若しくは彼を或る瞬時の思想から他の方向に向かせることは不可能でありました。彼が一事に屈托して居る場合には彼を動かして他事を爲さしめることは困難でありました。

彼の教育を理解せんとして續々マリエンタルを

訪れる人々が彼に殆んど閑暇な時を與へませんでした、而して彼は彼の意見を提示することによつて健康を害ふ位にまで根を疲らして了ひました。

その上、翌年（一八五一年）の夏の教員會議をリーベンスタインに召集して彼の教育原理を討議しやうといふ計畫が屢々問題となりました。それから盛んな家庭のお祝ひ——今まで數月間約婚してあつたレヴィン嬢とフレーベルとの婚禮も又春に行はれる筈でありました。

フレーベルは眞の家族生活に憧憬れて居りました、彼は女子の家庭的の教育は家庭で行はれなければならぬといふ自己の原理に従つて生徒と共に行動することを望んで居りました。

彼がデリーステルウエツヒと私とに彼がレヴィン嬢（レヴィン嬢はその頃既に細心に彼の家事を取締つて居りましたし、生徒に對しては母の愛を持つた友達であり又教師であつたのであります）と結婚しやうとして居ることを打明けた時、私達

はたゞもう賛成したのであります、而してそれのために彼の晩年が眞心を以てやさしくかしづかれるに違ひないと思つて喜びに堪えませんでした。

彼の不斷の活動が彼に尙元氣のあることを證して居りましたので彼の第二の結婚は少しも不思議には思はれませんでした。彼の年齢を知らない人は誰も彼が六十八才であるとは信じませんでした。彼に於て著しい智識の若々しさ及び清新さが誰にも彼の本當の年齢を思はせませんでした。それ程の高齡になつても不自由なところはまだ少しもなかつたのであります。人類のために生き、普遍的の人間の仕事を成し遂げやうとする人々は彼等の永遠の生活を地上に於て始めるのであります。

フレーベルは家族生活——家庭といふことを非常に考へて居りました——彼は彼の教育によつて家庭をして生意あらしめ、高上せしめたいと望んで居るのであります。彼が時折彼の深く敬愛する第一の妻に關して私に書き送つた通信及び彼がよ

く私に拔讀みして聞かせてくれた彼女の書翰とは彼が如何に自身の生活に於て彼の有する結婚の最高理想を實現せしめやうと努力したかを示して居るのであります。